

携帯アプリのスマートフォン対応案件が増加 IT予算規模は小さくとも業務システム導入の検討は活発

株式会社ビーブレイクシステムズ

ビーブレイクシステムズが様々な現場で感じたシステム業界における現在の景気動向を、現場目線で定期的に発信します。

【システム業界全般について】

7月以降、開発案件は増加傾向にあります。ユーザのコスト意識は依然として高いものの、契約の延長が各所で見られるなど、全体的に好調と聞きます。一方で、これまでIT市場全体を牽引してきた銀行等の金融業においてIT投資意欲が低下しているという話を聞きます。ある保守開発プロジェクトでは、コスト削減を図るためにエンジニアの契約を終了したそうです。これらの企業ではIT投資が直接的に売上に結び付くため、投資を行わざるを得ないという部分もありましたが、昨今の株価下落等の影響により、ついに厳格なコスト削減をするための方策を実施し始めたようです。また製造業などのIT投資についても依然縮小傾向だそうです。

インターネット、SI、コンサルティング、広告業界等において、自社の業務管理システムの導入を検討する企業が増えているようです。これまで金額面の交渉は、ベンダの提案後に行われるのが一般的でした。しかし最近では、顧客企業からの明確な予算提示があった上でベンダが提案するというケースが増えており、依然厳しいIT予算状況が続いていることが読み取れます。またコンペ先企業数が多く、顧客企業が時間をかけてベンダを選考することが普通になっているようですが、システム導入への関心は高まっているように感じます。

iPhone、Androidなどのスマートフォン市場において、引き続き案件数は増加傾向にあります。中でも、iモード等の携帯アプリ開発やソーシャルネットワーク等のサービス・開発を行う企業は、既存コンテンツのスマートフォン対応に高い関心があるようです。これらの企業では、スマートフォンアプリのノウハウが自社にないため、現在は開発を外部に頼っていますが、発注を通じて自社内にノウハウを蓄積させるという狙いもあるようです。

【エンジニアについて】

エンジニアの単価は低水準の2割減で横ばいです。プログラマ(PG)、初級システムエンジニア(SE)の供給過多は続いています。エントリーレベルのエンジニアには依然厳しい状況が続いています。

■株式会社ビーブレイクシステムズ 会社概要

住所：〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-19-3 五反田第一生命ビル

設立：2002年7月

資本金：6,000万円

代表取締役：白岩次郎

事業内容：統合型基幹業務パッケージ(ERP)「MA-EYES」等のパッケージ販売や、システムの受託開発。

URL：<http://www.bbbreak.co.jp/>

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社ビーブレイクシステムズ 担当：岡部、木塚

TEL：03-5487-7855 / FAX：03-5487-7854 / E-MAIL：info@bbbreak.co.jp